

株式会社アオキ



世界最小の ボーイング社認定工場

人工衛星プロジェクトの 立役者・青木社長が率いる 部品加工メーカー

平成21年1月。「まいど1号」の愛称を持つ小型人工衛星が、種子島宇宙センターから宇宙に向けて打ち上げられた。

「中小企業の技術力を結集し、メイド・イン・東大阪の人工衛星を打ち上げる」——今や全国的に知られるようになった東大阪人工衛星プロジェクト。その発起人として尽力し続けてきたのが、株式会社アオキの青木豊彦社長その人である。

「やっと肩の荷が下りました。皆さんの協力のおかげですわ」と表情を崩す青木社長。社長の人柄や人工衛星関連の話題でクロゾアアップされる機会が多い同社だが、実は航空機部品や精密部品の加工等、「本業」においても、国内随一の技術を誇るトップ企業なのである。



昭和36年6月。先代・青木唯夫氏が開いた小さな町工場で作られていたのは、農業用機械の部品だった。だが、唯夫氏と青木社長のものづくりに強い情熱は、おのずと優秀な職人を育て上げることにつながり、様々なビジネスチャンスが舞い込むように。建設機、造船プラント管機、ロボットの部品等、高い精度が求められる仕事を重ねて獲得した技術力が、今の航空機、宇宙産業部品加工の基礎となっているのだ。

ボーイング社も認めた 精密加工技術を武器に 挑戦を続ける

「他社にはあまり例がないようなダイナミックな転換を行ってきましたが、あくまで根底は金属加工の技術ですから、人材育成と設備投資には力を注ぎ続けています」と青木社長。平成7年に、厳しい審査で知られる大手航空機メーカー・ボーイング社から認められ、「世界最小のボーイング社認定工場」となったことから、その高度な技術がうかがい知れる。平成19年には世界の主要航空機メーカーが参加するNadcap（国際特殊工程認証システム）も取得。ミクロン単位の精度を要求される航空機業界で腕を磨いた職人たちの技術力は、金型加工や特殊素材を使った精密部品加工等にも活かされている。

「現在は、その軽さに注目が集まるマグネシウム合金の精密加工に取り組んでいます」と青木社長。マグネシウム合金を使った生体完全吸収

性ステント（動脈硬化等の治療に使う血管拡張器具）の加工技術開発を大阪大学医学部との共同研究で取り組む等、未知の領域に挑み続けているのだ。

「できると思えばできる、できないと思えばできない。東大阪の、いや大阪の中小企業がここまでできるんや、ということ世の中に示したい」。不可能を可能にし続けてきた、青木社長の挑戦はまだまだ終わらない。

株式会社アオキ

Company
Profile

住所 / 〒577-0065
大阪府東大阪市高井田中5-7-3
設立 / 昭和36年6月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 35名（平成21年1月現在）
TEL / 06-6781-5141
FAX / 06-6781-3921



青木豊彦さん
代表取締役

主な事業内容

航空機部品の加工、アルミニウム・チタニウム・ステンレス・FRP複合材等の精密部品加工、金型加工、マグネシウム切削加工等

ISO 9001

<http://www.aoki-maido.co.jp/>